

ジョウザンコガシラウンカ

澄川の基地まわりの整理伐を独りでやっていました。集材作業をしている仲間を外れての独り作業なのは膝が少し病んでいたのもマイペースで作業することにしたのでした。

朽ちてキツツキに啄ばまれて樹幹がぼろぼろにされているオオバボダイシュを切り倒して枝払いをしようとして持ち上げた手元に変な虫が這い出てきました。かつて見たことがなかったので、すぐにカメラで撮影しました。後で調べるためでした。撮影後にぼろりと落ちたのですが、雪の上を捜しても見あたりません。少し飛んだのかもしれませんが。2012年4月6日13時30頃と記録しておきます。

「札幌の昆虫」(木野田君公 著)のカメムシ(半翅)目コガシラウンカ科ジョウザンコガシラウンカに間違いのないと思いました。成虫で越冬していたのです。図鑑の説明は出現時期は8~10月で体長8mm、棲息場所は山地の森林内とされているので該当します。ジョウザンとは定山溪の定山のこととその辺りで最初に発見され命名されたことを表わします。ジョウザンと頭につく名の虫は全部で11種類も索引に記載されていますがそれらは皆発見地が札幌南部であったようなのです。セミもカメムシ目ですからウンカが澄川の森にいても不思議ではありませんが、このジョウザンコガシラウンカはGOOGLEで検索しても記事はおろか画像も出てきません。極めて希少かもしれない(確かに)かのどちらかでしょう。その点でこの映像は貴重なものと思ったりしています。



冬に出会うことが出来る虫は極めて少ない中で、この虫との出会いは幸運でした。むりやり這い出されたきらいはありますが、寒さに凍え死んだとしたら誠に申し訳ないことになります。ごめんしてください。